

2026年1月27日
東北経済産業局

令和7年度東北地域の「エネルギー管理功績者」、「エネルギー管理優良事業者」及び「エネルギー管理優良工場等」が決定しました

東北経済産業局では、エネルギー管理の推進に不断の努力を重ね、その成果が大きく、他の模範となる個人、事業者及び工場等を 2009 年度から表彰しています。

このたび、令和 7 年度表彰者として「エネルギー管理功績者」5 者、「エネルギー管理優良事業者」1 者、「エネルギー管理優良工場等」3 者を決定しました。

また、表彰式を 2026 年 2 月 25 日(水曜日)13 時 00 分から、日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)において開催します。

1. 表彰の概要(目的)

省エネルギーの意義を理解し、永年にわたりエネルギー管理の推進に尽力し、その功績が顕著であると認められる個人、並びに、国内外におけるエネルギーをめぐる経済的、社会的環境に応じた燃料資源の有効な利用の確保に資するため、エネルギー管理の推進に不断の努力をもって取り組み、その成果が大きく他の模範となる事業者及び工場・事業所を表彰し、省エネルギーの一層の推進に資することを目的としています。

2. 公募期間

2025年6月13日～10月3日

3. 各表彰の受賞者

(1)エネルギー管理功績者(敬称略)

勝浦 章徳(かつうら あきのり)
河村 政彦(かわむら まさひこ)
武石 淳(たけいし じゅん)

尾形 安則(おがた やすのり)
鈴木 昇(すずき のぼる)

弘前航空電子株式会社
株式会社前川製作所 八戸営業所
東北電力株式会社 発電カンパニー
火力部 火力技術訓練センター
株式会社ユアテック 秋田支社
信越石英株式会社 郡山工場

(2)エネルギー管理優良事業者

三浦建設工業株式会社 (青森県)
(法人番号 4420001006636)

(3)エネルギー管理優良工場等

キヤノンプレシジョン株式会社 北和徳第二事業所(青森県)

(法人番号 3420001009805)

株式会社エヌエスオカムラ(岩手県)

(法人番号 5400001007296)

株式会社同仁社 第一工場(福島県)

(法人番号 4380001001006)

※受賞者の取組内容等は別紙を御参照ください。

4. 表彰式について

受賞者については、東北経済産業局主催による「令和7年度東北地域省エネルギー一月間表彰式※」にて、表彰を行います。

※毎年2月の「省エネルギー月間」行事として、関係団体・機関による省エネルギー一関係の表彰式を併催。

日時:2026年2月25日(水曜日)13時00分~14時00分

場所:日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)

(宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)

表彰式終了後「令和7年度エネルギー使用合理化シンポジウム東北」(14時30分~16時30分)を開催し、エネルギー管理優良事業者・工場等受賞者の取組事例について講演を行いますので、是非、お越しください。

- [「令和7年度省エネルギー月間表彰式」及び「令和7年度エネルギー使用合理化シンポジウム東北」を開催します](#)

(本発表資料のお問合せ先)

東北経済産業局エネルギー対策課長 千葉

担当者: 井上・松田・佐々木

電話:022-221-4932

FAX:022-213-0757

●令和7年度エネルギー管理功績者及びエネルギー管理優良事業者等 受賞者一覧 別紙

(公募期間: 2025年6月13日~10月3日)

エネルギー管理功績者東北経済産業局長表彰 受賞者

氏名	所属	取組内容	勤務先所在地
かつうら あきのり 勝浦 章徳	弘前航空電子株式会社	エネルギー管理士として、同社のエネルギー管理者及びエネルギー管理統括者を担い、エネルギー使用の合理化を推進した。直近3年間では、合計で約2900台の照明器具をLEDへ更新し、加えて高効率なコンプレッサーへ更新するなど、大幅な電力使用量の削減を実現した。また、東日本大震災後に自社で実施した節電対策を題材にした講義の講師を務める等、地域の節電対策の取り組みにも貢献した。	青森県
かわむら まさひこ 河村 政彦	株式会社前川製作所 八戸営業所	同社の製品が省エネ及びCO2排出量削減に寄与する製品であることから、エネルギー管理士として、若手社員を含めた社員への意識醸成を行うために、省エネ法の勉強会を毎年自ら開催した。また、一般財団法人省エネルギーセンターのエネルギー合理化専門員、特定非営利活動法人循環型社会創造ネットワークの省エネ診断員として100を超える事業所やビルに対し、省エネ診断・指導・助言を行うとともに、省エネ補助金の申請・支援にも積極的に関与した。	青森県
たけいし じゅん 武石 淳	東北電力株式会社 発電カンパニー 火力部 火力技術訓練センター	長年にわたり秋田火力発電所の業務に従事し、その豊富な経験と卓越した知識で、エネルギー管理士として燃料及び電気の使用量合理化、蒸気量削減等による大規模な省エネルギー対策の推進、さらには後進の人材育成にも尽力した。また、発電所の見学者や、インターシップ研修者等に対して、火力発電所の仕組みや省エネルギーに関する取り組み等を紹介し、次世代への環境意識の醸成と省エネルギーの理解促進を図る啓発活動を実施した。	宮城県
おがた やすのり 尾形 安則	株式会社ユアテック 秋田支社	秋田火力発電所及び一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター出向時の知見・経験などを基に、エネルギー管理士として、省エネ支援を数多く実施し、後進の人材育成に取り組んだ。また、一般財団法人省エネルギーセンター及び、秋田県の省エネお助け隊の専門員として、省エネ診断の実施、省エネルギーをテーマとした外部団体への講演を数多く実施するなど、社外に向けた省エネの普及・啓発に積極的に取り組み、秋田県内の事業者を中心とした省エネ促進に大きく貢献した。	秋田県
すずき のぼる 鈴木 昇	信越石英株式会社 郡山工場	エネルギー管理士として、電気使用の合理化を含めたエネルギー有効活用に関する業務に携わり、同社の事業拡大に伴い、様々な省エネ施策を計画・実施した。特に、蛍光灯のLED更新、HCFC冷媒を使用した空調設備の一新を工場・研究所規模で実行し大幅なエネルギー使用量の削減を達成した。また、更新した特高受変電設備に関する洪水対策も加味した省エネ推進についての情報提供を対外的にも積極的に実施し、社外に向けた省エネの普及・啓発に取り組んだ。	福島県

●令和7年度エネルギー管理功績者及びエネルギー管理優良事業者等 受賞者一覧

(公募期間：2025年6月13日～10月3日)

エネルギー管理優良事業者東北経済産業局長表彰 受賞者

優良事業者名	取組内容	所在地
みうらけんせつこうぎょう 三浦建設工業株式会社	<p>環境理念として、「『もの創り』を通して、全ての事業活動において環境保全に取り組み、地球環境を考慮した企業を目指します。」をモットーに、その行動方針において、「全社で省エネ活動を推進します。」と掲げており、<u>トップダウンで徹底した省エネ（LEDへの更新など）</u>や<u>積極的な再エネ活用（太陽光発電設備の導入）</u>に取り組んでいる。</p> <p>中小企業として、<u>エネルギーに関する専門的な人材を十分に確保できない中でも、省エネセミナー等に参加を通じ他社の取り組みを参考にするとともに、省エネ診断を足掛かりとし、外部の専門機関やメーカーなどから専門的知見を得ることで、積極的に省エネや再エネ施策に取り組み顕著な成果を達成した。</u></p> <p>中期目標：2030年CO2排出量60%削減(2021年比)、長期目標：2050年カーボンニュートラルの達成を目指して、外部発信もしながら、積極的に取り組んでいる。</p>	青森県

エネルギー管理優良工場等東北経済産業局長表彰 受賞者

優良工場等名	取組内容	所在地
キヤノンプレシジョン株式会社 きたわとくだいに 北和徳第二事業所	<p>全社的な体制を構築し、社内横断的な省エネパトロールの実施及び、工程別での電力量の見える化を実施し、エアー漏れの改善、不要時における設備停止による稼働時間の短縮など、着実なエネルギー使用量の削減に務めている。</p> <p><u>また、取引先に対し、こうした改善事例・ノウハウを共有するとともに、電力量を測定する機器などを活用し、運用改善・設備更新に向けた提案を実施している。</u></p> <p>自社のリソースを活用し、取引先のエネルギー・CO2削減に繋げており、<u>大手企業のグループ会社として、サプライチェーン全体を見据えたカーボンニュートラルの実現に向けて、積極的に取り組んでいる。</u></p>	青森県
株式会社エヌエスオカムラ	<p>エネルギーに関する事業計画・目標設定のための事業計画会議、エネルギー使用実績・原単位評価のための毎月のマネジメントレビュー会議を組織的に実施している。<u>省エネ活動のPDCAを回すと共に、エネルギー変化については毎日の朝会で異常の有無を確認するなど、計画的な省エネ活動と徹底したエネルギー管理により、継続的な原単位の改善を達成している。</u></p> <p>また、その省エネ活動のハード対策（インバーターコンプレッサー導入、<u>塗装工程のプロセス変更改善等</u>）及び、ソフト対策（PDCAの仕組み、省エネパトロール等）を県内のセミナー等で積極的に発表しており、<u>地域における省エネの模範事業者として地域の省エネ推進に貢献している。</u></p>	岩手県
どうじんしゃ だいいち 株式会社同仁社 第一工場	<p>省エネルギーの推進を全社的な取り組みとして掲げ、エネルギー管理統括者とエネルギー管理企画推進者の強力なリーダーシップの下、<u>大型洗濯機における温排水の再利用、蒸気ボイラーの燃料転換（重油から都市ガスの利用）</u>及び、<u>洗濯物の乾燥ラインにおける蒸気の有効活用などを通じて、品質の向上に取り組みながら、大幅なエネルギー使用量の削減を達成した。</u>こうした体制の下に実施される設備更新は、<u>工場内の自動化・省力化を促進し、従業員の作業負担の軽減にも貢献している。</u></p> <p>エネルギー人材の育成に向け、毎年多くの従業員を他社工場への見学に派遣しており、更なる業務改善と省エネ意識の醸成、そして、従業員の意欲向上につなげている。</p>	福島県